

教育だより

教育委員会総務課
庶務広報係
(内線533)

平成19年度

各小中学校の目標と取り組み

新年度が始まり、新学期も1か月を過ぎました。今月号では、平成19年度における、各小中学校の学校教育の目標や取り組みについて校長先生方に伺いました。

問い合わせ 教育委員会総務課 (内線533)



校長 山田 幸次

まなびあいの教育

目指す学校像を「まなびあいの教育で、できる楽しさ・学ぶ喜びあふれる学校」としました。また、学校の教育目標を、
・ルールをまもる子
・チームワークをつくる子
・ベストをつくす子
としました。

○子どもたちの学力の向上と、豊かな心を育む教育
今年度は、町教育委員会より、国語科の指導法の学校研究委嘱を受けました。国語科の授業の質を高めれば、子どもたちの学力も伸びます。子どもたちの持つ個性を生かす。豊かな心を育むために、教師自身が研修と修養に励みます。
○できる楽しさ・学ぶ喜びを感じる学校生活
「まなびあいの教育」を推進することで、子どもたち一人ひとりが、できる楽しさ・学ぶ喜びを感じる学校生活を過ごすことになり



校長 島崎 利雄

人間関係づくりの確立をめざして

地域の協力のもと、潤いのある教育環境づくりに努め、児童一人ひとりが心身ともに健やかに成長するため「教育に関する3つの達成目標」に取り組み、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進します。そして、ふるさとを愛し・ふるさとで学ぶ、健康で心豊かな児童の育成を目指します。



小中学校児童生徒・学級数

平成19年4月10日現在

学校名	児童生徒数	昨年度比	学級数
三芳小学校	589	93	20
藤久保小学校	629	△52	22
上富小学校	169	7	6
唐沢小学校	472	9	15
竹間沢小学校	292	△10	12
小学校計	2,151	47	75
三芳中学校	268	△20	9
三芳東中学校	335	3	10
藤久保中学校	349	0	11
中学校計	952	△17	30
合計	3,103	30	105

三芳中学校



校長 金 伸二郎

格好いい中学生

本校の目指す生徒像は「格好いい中学生」です。
格好いい中学生とは、学ぶ生徒・貢献する生徒・優しい生徒・健康な生徒の総称を言います。
例をあげますと、学ぶ生徒とは、
・授業を大切にできる人のこと
・家庭学習をする人のこと
・計画を立て実践できる人と定義しています。
さらに、授業を大切にできる人になるには、どのように実践すればよいか、具体的な行動目標を例示しています。

『夢実現プラン』の作成

生徒は、目指す生徒像から行動目標まで連鎖した『夢実現プラン』を作成し、格好いい中学生を目指しています。
教師自身も格好いい教師を目指し、学校経営方針に「自ら学ぶ教師が、学ばせようの教師」「教師は最大なる教育環境」を掲げ、研鑽に励んでいます。

藤久保小学校



校長 石田 重憲

あいさつと花と笑顔あふれる藤久保小

本校は、学校教育目標を「やさしく、かしこく、つよい子」とし、豊かな知性と感性に富み、心身ともにたくましく生きる子の育成を目指します。
県の「教育に関する3つの達成目標」と連動し、平成18・19年の2年間、町教育委員会の学校研究委嘱を受け、新しい時代を担う子どもたちの育成に努めます。
○豊かな人間関係、豊かな心、できた喜び、人とふれあう喜びを育む教育
さらに、めざす学校像のスローガンとして「あいさつと花と笑顔あふれる藤久保小」を掲げ、豊かな人間関係、豊かな心、できた喜び、人とふれあう喜びを育んでいます。

上富小学校



校長 澤田 秀雄

花と緑の上富小学校

本校は、周囲を雑木林に囲まれ、花と緑が豊かです。この環境を生かし、地域との連携を深め、キャッチフレーズを「花と緑の上富小学校」とし、子どもたち一人ひとりのよさを伸ばす教育をすすめます。
○「分かる・できる・つかえる」力を育む
今年度は、算数科の指導法の工夫、改善の研究を進め、子どもに「分かる・できる・つかえる」力を育みます。この研究結果を近隣の学校、地域、保護者の皆様に、授業公開の形で発表します。
また、基礎学力の定着、規律ある態度の育成、体力の向上にも積極的取り組み、学校教育目標「清く…心豊かな明るい子ども」「かしく…心豊かながら明るい子ども」「かしく…心豊かながら明るい子ども」に育って進んで学習する子ども」
「たくましく…心身ともに健康で、明るく生活する子ども」に育てるよう、教職員が協力して取り組みます。

三芳東中学校



校長 日吉 一博

響りあふれる東中学校

このキャッチフレーズのように、保護者や生徒の手によって植えられたあふれる花の響りと、自主自立・伝統文化の響り漂う本校は、開校31年目を迎えた今も地域に根ざす学校として健在です。

☆目指す生徒像

教職員一丸となって「生徒の夢を育み、その実現に向けて全力で支援する学校」を目指します。

☆目指す生徒像
自主自立の精神を持ち「自らの意思と能力で自らの道を切り拓いていく生徒」を目指します。

☆学校教育目標
・心豊かな生徒
・意欲的に学ぶ生徒
・たくましく生きる生徒

本校の教育の根幹である「自主自立の精神」の育成に力を尽くし、豊かな感性に裏打ちされた学習意欲とたくましく育てる教育活動に邁進します。

唐沢小学校



校長 戸塚 眞一

「一人ひとりのよさを伸ばす教育活動を展開し、地域に信頼される学校」を目指して

本校は、「人を大切にする豊かな心を持ち、自ら学び、主体的に生きる児童を育成する」を学校教育目標とし、本年度はこの目標達成のために、次のような学校を目指します。
○生活や学習などの基礎基本が着実に身につけられる学校。
○保護者、地域との連携のもとに、教職員で子どもたちの安全を見守り育てる学校。
○自然や人との関わりの中で「育ち会う」ことを大切にす学校。
次の点を重点的に取り組みます。
1《元気で明るい学校》笑顔で元気、仲良くできる子の育成
2《一人ひとりが輝く学校》自ら学び自ら考え、自ら判断する事ができる子の育成
3《心が育つ学校》自然や人との関わりを大切に、豊かな心の育成
4《安全・安心な学校》保護者・地域と協力できる学校

藤久保中学校



校長 坂西 茂実

「活気に満ちた躍動感あふれる楽しい学校」の実現を

本校の生徒一人ひとりが夢と目標を持ち、その実現のために日々努力し成長しようとするとき活気に満ちた活動が生まれます。教職員一同が心一つにして元氣な活力のある学校づくりを目指します。

○学ぶ楽しさと厳しさのある授業づくり、生徒一人ひとりが輝ける教室づくりを目指して

そのために、一つ目として、学ぶ楽しさと厳しさのある教室づくりを進めます。規律ある授業で基礎基本の定着を図り、学ぶ喜びを味わう授業の展開に努めます。二つ目として、生徒一人ひとりが大切にされる教室、一人ひとりが輝いている教室づくりを進めます。
教師と生徒、生徒同士が信頼関係でつながり、互いを思いやり、互いに向上していこうとする学級・学年集団の創造に努めます。

教職員人事異動

4月1日付で、三芳町教職員の人事異動が発令されました。異動された方は次のとおりです。
※()内は前職、管理職のみ掲載します。(敬称略)

◆転出

新座市立八石小学校長(藤久保小学校教頭)
東松山市立北中学校教諭(三芳中学校教頭)
鶴ヶ島市立藤小学校長(藤久保中学校教頭)

◆転入

藤久保小学校教頭(富士見市立ふじみ野小学校教諭) 高根 豊
三芳中学校教頭(富士見市立本郷中学校教頭) 小関 隆弘
藤久保中学校教頭(志木市立宗岡第四小学校教頭) 木田 正美

◆町内異動

竹間沢小学校長(学校教育課長)

中山日出子

教育委員会委員長に 荻島詔氏が就任しました

4月20日開催の教育委員会で荻島詔氏が、新しく教育委員長に選出されました。
氏名 荻島 詔
住所 三芳町大字藤久保90番地11



荻島 詔



木田正美教頭



小関隆弘教頭



高根 豊教頭

三芳町中学生 海外派遣生徒募集

国際交流事業の一環として、本年度も海外へ中学生を派遣します。次の事項を確認の上、各中学校を通して応募してください。

派遣先 オーストラリア

派遣期間 8月9日(ホムムステイ5泊)

派遣曜日 8月1日(水)～9日(木)

派遣人数 三芳町立中学校3年生・12人

費用 個人負担金12万円(旅行傷害保険料、ビザ取得代含む。)

応募方法 各中学校にある応募用紙に、必要事項、応募理由等を記入の上、担当の先生に提出してください。

募集期間 5月9日(水)まで。

※応募者多数の場合は選考を行います。

選考 1次選考：5月18日(金)

三芳町役場を会場に作文(400字詰め原稿用紙2枚以内)、英語のリスニングテストを行います。

2次選考については後日連絡します。

問い合わせ 学校教育課(内線 521・522)

図書館の本棚より「すごい発見役立つ発明」

「発書」

暮らしのテクノロジー〜20世紀
ポピュラーサイエンスの神話



原 克 著
大修館書店
2007年3月刊
請求番号 一般502ハラ

スリーパーのカート、回転寿司、手早く済ませランチ、軍需技術転用のカーナビ。現代社会は、技術進歩の恩恵を享受し、あらゆるものが効率的に進んでいます。迅速さが規範になっている社会では「ファストフードの幸福感に酔いしれ、人間の営みが効率よく消費」という価値で計られている。スリーパーが見直されている。今、スリーパー社会に一石を投じる技術文化史です。

「児童書」

インスタントラーメン誕生物語



中尾 明 作
宮崎 耕平 絵
PHP研究所
1998年7月刊
請求番号 児童289ア

「戦後で何もかも失った日本人が、腹一杯食べて体力をつけられるように、いつでもどこでも簡単に食べられる幸せの食品を作りたい。」今や国民食となったインスタントラーメンは、こんな精熟から生まれました。自宅物置で何度失敗しても諦めず、ついに麺を油で揚げるという画期的加工法を発見。更に改良を重ね、日本が誇る食品へと育て上げたインスタント麺の生みの親、安藤百福の物語です。

図書館だより
中央図書館 ☎258-6464
火～金 10:00～19:00 土日 10:00～18:00
竹間沢分館 ☎274-1722
火～日 10:00～18:00

5月の予定
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31
〈中央図書館〉
ぐりぐりタイム
絵本・紙芝居・手遊びなどで、楽しく本を紹介しします。
第1・3金曜日 11:00～11:15 1・2歳～
11:20～11:40 3歳～
第2・4火曜日 16:00～16:30 4～8歳
♥としょかん・くらぶ (毎月第4土曜日/会員制)
講師の読み聞かせと司書のブックトークで本に親しみます。(小学生対象)
10:10～10:55 1・2年生 40人
11:05～11:50 3・4年生 40人
12:00～12:45 5・6年生 40人
♣かにかにこそこそ (第3水曜日/大人対象)
10:00～12:00 (昔話などを覚えて語る練習会)
〈竹間沢分館〉
ぐりぐりタイム (第4火曜日)
11:00～11:30 1歳～
◆スイミーおはなし会 (第2水曜日)
16:00～16:30 4歳～小学生



ノキショーブ (旧池上家住宅にて)

三芳の文化財

第1回 端午の節句

私たちの身のまわりには、さまざまな歴史の証があり、それは建物や書物などの形が残るものだけでなく、行事や仕草など形の残らないものもあり、すべてが三芳町の歴史を語る「文化財」です。このコーナーでは、三芳町内に残る有形・無形の文化財にスポットをあて、紹介していきたいと思えます。今日は「端午の節句」についてです。節句(節供とも書く)は1年間の節目の日をさし、昔からその日は休日(農休日)とされました。1月7日(人日/じんじつ)・3月3日(上巳/じょうし)・5月5日(端午/たんご)・7月7日(七夕)・9月9日(重陽/ちゅうよう)の5

日は五節句と呼ばれ、特に重要な節目とされてきました。端午の節句には、子供の健全な成長を願って武者人形や鯉のぼりを飾り、菖蒲湯に入るといふことはよく知られており、また現在では行われていません。かつてはこのほかに、よもぎと菖蒲を母屋の入り口付近の軒や井戸筋にさす「キショーブ」と呼ばれる飾りも行いました。これは菖蒲の臭いで魔物や病気が家に入らないようにするためのものです。

端午の節句を過ぎると、畑の種まきや麦刈り、田植え準備にお茶摘みと、農家は1年の中で最も忙しい時期に入ります。そういう意味では、現在「子どもの日」と呼ばれる端午の節句ですが、来るべき繁忙期に向けて英気を養う大人のための休日でもあったと言えることができます。



小学校における キャリア教育の推進

今日、各学校には「将来の職業や生活への見通しを与えるなど、学ぶことや働くこと、生きることの尊厳を実感させる教育を充実し、学ぶ意欲を高めること」と、「発達段階に応じて選択能力を育てたり将来の生き方や進路などを考えたりすること」といったキャリア教育が強く求められています。これを受け、平成19年度から各小学校でもキャリア教育への取り組みが始まりました。中学校においては、これまで生徒が自らの生き方考え、将来に対する目的意識をもち、自分の意志と責任で主体的に進路を選択できることを目指し、進路指導が行われてきました。キャリア教育は、これに加え、児童生徒が現在の学習や生活を将来の社会生活や職業生活と結び付けながら、常に夢や希望を描くとともに、職業人、社会人として主体的によりよく生きようとする意欲や態度、能力を育てる教育です。小学校におけるキャリア教育は、職業技能の習得を目指したり、中学校で行っている職場体験を同じように行ったりというような、新たな科目や内容を導入するものではありません。現在行っている各教科等の指導の中で、勤労や責任を重んじ、よりよい人間関係を形成し、働くことに関する意欲や態度を育てていくことや、一人一人の望ましい勤労観、職業観を育てていくことを重視する教育です。具体的には、①あいさつや返事をきちんとすること ②感謝の気持ちを表すこと ③清掃・係・当番活動で協力して自分の役割を果たすこと ④いろいろな職業や社会的役割について理解すること ⑤自他よさを認め、思いやりの気持ち、相手の立場に立つて考え行動することなどを学んでいくものです。各学校では「生きること」「学ぶこと」「働くこと」を一体とした指導の充実を図り、夢や希望をはぐくみ、それを実現する子どもたちの育成に取り組んでいきます。